

もうひとつの国文祭 in 角館

酒席で磨き上げられた秋田民謡と手踊り

10月5日(日)・10月26日(日) 18:00~

会場：グランデールガーデン 会費：6,000円(当日受付にて受領)



県民参加事業

酒席で親しまれていた郷土の伝統文化「秋田民謡」と「手踊り」や、地元角館町出身の俳優山谷初男さんによる地唄(替え歌)や軽妙なトークを楽しみながらの、文化的な酒宴です。

また、民謡や手踊り地唄が、豊かな自然・食・人柄といったさまざまな環境の中で、秋田独自の「もうひとつの文化」として変遷、成熟していった文化的側面について、高階秀爾さん、西木正明さん他の方々をコメンテーターに迎え、楽しく語ります。

地唄、民謡、手踊りで 粋に飲んで、うめもの食って

酒宴に文化あり

小説家の伊藤永之介(1903~1959。秋田市出身)が角館を訪れた際に、横町の國の花で開かれた酒宴の写真。酒杯を手に手踊りを楽しむ様子がわかる。

もうひとつの国文祭 in 角館

酒席で磨き上げられた秋田民謡と手踊り

10月5日(日)・10月26日(日) 18:00～

会場：グランデールガーデン

会費：6,000円(当日受付にて受領)

※参加ご希望の方は電話・ファクスでお申し込みください。

※定員(50名)になり次第締め切らせていただきます。

出演者

山谷 初男 1933年生まれ。仙北市角館町出身。俳優。1953年に劇団東芸で「ホタルの歌」で初舞台を踏み、1964年に「ケチまるだし」で映画デビュー。生家はJR角館駅前の「やまや旅館」(「食堂やまや」も経営)。秋田弁を自在に使いこなせるため、東北弁の役柄が多く、人柄の良い中年や老人の役で素朴な味わいを出している。



秋月会(代表：藤原勇悦) 津島組故津島留吉氏(嬉遊軒雷勇一心)の流れを継承。角館のお祭り「おやま囃子コンクール」で平成25年度・平成26年度と連続で最優秀賞を受賞している。

藤美会(代表：藤原ミサ子) 平成26年の角館のお祭りでは5丁内の曳山に踊り手を配している。また県立角館高等学校飾山囃子部をはじめ、積極的に後進の指導にあたっている。

参加申込み期間

各開催日の3日前

《1》電話申込み(平日9:00～18:00)

参加希望日、お名前、ご住所、連絡先電話番号、参加人数を下記お問合せ先までご連絡ください。

《2》ファクス申込み

下記欄に必要事項をご記入の上、下記お問合せ先までファクスをお願いします。

参加希望日と 参加人数	<input type="checkbox"/> 10月5日(日) 参加人数 人	<input type="checkbox"/> 10月26日(日) 参加人数 人
氏名	連絡先 電話番号	
住所		

もうひとつの国文祭 in 角館 実行委員会

秋田県仙北市角館町上菅沢397-2 角館町観光協会内

電話：0187-54-2700

ファクス：0187-54-1755